

リーフレット

特別支援マスター指標 連動型 研修プログラム

かがわ特別支援教育研修パッケージ

特別支援マスター指標連動型研修プログラム「かがわ特別支援教育研修パッケージ」は、本県の教員等人材育成指標を基にした研修プログラムとして、教員一人一人が教職経験のキャリアに応じて主体的に専門性を高めるために活用できるようにするとともに、管理職が研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に活用できるように開発したプログラムです。

校内外での特別支援教育に関する各種研修、研鑽のための自己研修等、多様な研修で活用してください。

令和 6 年 3 月
香川県教育委員会事務局
特 別 支 援 教 育 課

特別支援マスター指標 連動型 研修プログラム 「かがわ特別支援教育研修パッケージ」

① 教諭・養護教諭・栄養教諭

【令和5年9月版】

教諭・養護教諭・栄養教諭の「特別支援マスター指標」

キャリアステージ 観点	基礎期 基本的な知識・技能習得 (目安：1～6年目)	発展期 自己研鑽意欲・専門性向上 (目安：7～20年目)	深化期 多様で豊富な経験の発信 (目安：21年目)
子供理解力 (観察やアセスメントに基づく実態把握)	障害による困難さについて、先輩教員の助言等を参考に理解する。	障害による困難さについて、多方面からの情報を収集しながら総合的に理解する。	障害による困難さについて、確かな理解力と経験を生かし、他教員に適切に提案できる。
学習指導力 (指導目標、内容、方法の設定)	支援の在り方について基本的な知識や技能を身に付ける。	専門的な知識や技能を高めながら、集団の中での個に応じた指導ができる。	豊富な経験を生かしながら、適切な支援の在り方を他の教員に提案できる。
参画・協働力 (関係機関と連携しながら行動する力)	保護者や関係機関との連携の大切さを理解し、管理職や先輩教員と相談しながら連携を進める。	保護者や関係機関と積極的に連携するとともに、協働的な支援チームの一員としての役割を果たす。	保護者や関係機関と共に情報共有を図りながら、協働体制づくりにおいてリーダーシップを発揮する。

研修プログラム

資質能力キーワード	子供理解・困難さの認知	学習指導・教育課程	校内連携・協働体制構築
国立特別支援教育総合研究所 インターネットによる講義配信 「NISE 学びラボ」 ・講義スタイルで、体系的に学べるサイト 	2-1 共生社会に向けたインクルーシブ教育システムの構築 2-3 インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (2) 理念と考え方 2-6 特別支援教育における教材・教具の活用 2-12 自立活動の指導 - 指導計画の作成 - 2-21 通常の学級における個々の子供への指導や支援	2-4 インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進 (3) 教育課程 2-9 インクルーシブ教育システムにおける交流及び共同学習 2-20 障害のある児童生徒における学習評価 2-131 発達障害のある子どもの通常学級における支援 - 共同学習における一人一人のちがいを生かす支援 - 2-129 LDのある子どもの理解と対応	2-13 インクルーシブ教育システムの構築 2-8 特別支援教育におけるカウンセリング技法 2-11 個別的教育支援計画と個別の指導計画の作成と活用② 2-16 特別支援学校の地域におけるセンタース機能① - センタース機能の考え方と内容 - 2-117 LD・ADHD・高機能自閉症等教育概論
県教育センターHP ・演習スタイルで、体験的に学べるサイト 	オンライン研修サイト 個別の指導計画作成演習プログラム ①算数編 ②校外学習事前学習編		
国立特別支援教育総合研究所 ・(NISE) 発行 特別支援教育リーフ 	NISE Vol. 4 多様性の理解につながる「障害理解」 NISE Vol. 5 このように考えよう、「合理的配慮」 NISE Vol. 1 ここからはじめよう、特別支援学級	NISE Vol. 2 障害のある子供も共に楽しむ体育の授業 NISE Vol. 3 学習や生活を豊かにする ICT	NISE Vol. 6 活用してみよう、「センターの機能」
主たる研修	初任者研修 教職1年経験者研修	中堅教諭等資質向上研修 I・II	教職20年経験者研修

② 管理職（校長・副校長・教頭）

校長・副校長・教頭の「特別支援マスター指標」

観点 キャリアステージ	副校長・教頭 キャリアの充実	校長 キャリアの完成
マネジメント力 （学校経営力、人材育成力）	学校経営計画の重点項目を具現化した特別支援教育の視点を取り入れた校内研修を推進し、評価と改善に導く具体的な指導ができる。 障害による困難さについて、確かな理解力と豊富な経験を生かし、就学も含めた適切な指導ができる。 各種教育施策や制度を正しく理解し、学校経営において活用する。	学校経営計画の重点項目に特別支援教育の視点を明示し、特別支援教育の資質向上を目指した実践的な校内研修や校内委員会を運営する。
連携推進力 （保護者、関係機関との連携を推進する行動力）	校内委員会の有機的な運営を推進し、できうる環境整備や合理的配慮を提案するとともに、相談窓口として保護者や関係機関との連携を一層推進する。	保護者や関係機関、特別支援学校等とのつながりを密にした支援体制を構築し、組織強化の責務を果たす。
子供理解力 （観察やアセスメントに基づく実態把握）	多面的かつ適切な実態の把握と検査結果等の活用で、障害による困難さを理解し、支援の方向性等を助言できる。 個別の指導計画の作成状況を確認し、適宜妥当性を評価できる。	

研修プログラム

資質能力キーワード	保護者・関係機関との連携推進	組織力・経営力の強化
☐ 国立特別支援教育総合研究所 インターネットによる講義 配信 「NISE 学びラボ」 ・講義スタイルで、 体系的に学べるサイト 	☐ 2-14 インクルーシブ教育システムにおける専門性と研修 ☐ 2-16 特別支援学校の地域におけるセンター的機能② - センター機能が有効に発揮されるために - ☐ 2-18 合理的配慮と基礎的環境整備 ☐ 2-26 多様な学びの場 （2）小・中学校等② ☐ 2-120 自閉症のある児童生徒の家族支援	☐ 2-19 特別支援教育の視点を生かした学校経営 ☐ 2-40 小学校・中学校管理職のための特別支援学級における教育課程編成 ☐ 2-41 特別支援教育コーディネーター - 役割と活動を中心に - ☐ 2-42 教育と福祉・医療等との連携 ☐ 2-44 小・中学校に在籍する健康面への配慮が必要な児童・生徒の理解
☐ 県教育センターHP ・演習スタイルで 体験的に学べる サイト 	☐ オンライン研修サイト 校内委員会運営演習プログラム	
☐ 国立特別支援教育総合研究所 ・（NISE）発行 特別支援教育リーフ ☐ 国立教育政策研究所 ・（NIER）発行 生徒指導リーフ  	☐ NISE Vol.1～6 ☐ NIER Leaf.3S 発達障害と生徒指導～自尊感情への配慮～ ☐ NIER Leaf.14S 不登校の予防～発達障害の特性と不登校リスク～ ☐ NIER Leaf.15S 「中1ギャップ」の真実～発達障害の特性等に応じた小中のつながり～	
☐ 主たる研修	☐ 新任副校長・教頭研修	☐ 新任校長研修

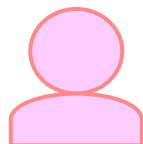
全ての教員等のための研修等の機会の充実に向けて

本県の教員等人材育成方針で示された指標は、「目指すべき香川の教員像」に基づいて、職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質を明確化し、キャリアステージに応じて体系的に絶えず学び続ける意欲を喚起するものです。

自己のキャリアと獲得したい資質について整理し、専門性向上に向けた学びを主体的に実現していきましょう。これまでの経験内容や校内外での立場等を考慮し、管理職と相談しながら研修に取り組むことも有効です。自分に合った研修内容等を見つけましょう。

キャリアステージに応じた
研修プログラム活用例

例1 新任 小学校教頭A



教頭として身に付けておくべき資質能力は、何だろう

「特別支援マスター指標」(副校長・教頭)には、
マネジメント力...学校経営力、人材育成力と示されている。

□ 『NISE 学びラボ2-18

合理的配慮と基礎的環境整備』をインターネットで視聴し、
通常の学級でできる支援や保護者との連携について学び、校内でできる
環境整備や合理的配慮を提案し、共有しよう。

マネジメント力

特別支援教育コーディネーターとして、協働体制を構築するために必要な
専門性(能力)は何だろう

「特別支援マスター指標」(深化期)には、
参画・協働力...関係機関と連携しながら行動力と示されている。

□ 『NISE 特別支援教育リーフ Vol. 6

活用してみよう、「センター的機能」』をサイトから閲覧し、
特別支援学校のセンター的機能の有効活用について学び、整理してみよう。

参画・協働力

例2 小学校教諭B 特別支援教育 コーディネーター



例3 小学校教諭C (基礎期)



個別の指導計画の作成にあたり、指導目標や具体的手立ての設定の
仕方を知りたい

「特別支援マスター指標」(基礎期)に対応した研修プログラムに
オンデマンドコンテンツの

□ 『「個別の指導計画作成演習プログラム

②校外学習事前学習編』がある。動画配信を受講し、
障害特性や困難さの認知理解力を深め、指導の手立てを考えよう。

子供理解力・
学習指導力

この、特別支援マスター指標 連動型 研修プログラムは、教員一人一人のキャリアステージ
に応じた体系的プログラムとして編成しました。

また、その時々が必要に応じてコンテンツをピックアップして活用することもできます。